



会長挨拶 ～糖尿病がひらく新しい健康の扉～

新潟県糖尿病協会 会長 羽入 修

「面倒な病気になった」「目の前が真っ暗になった」「もう人生の楽しみは無くなつた」糖尿病と診断された患者さんがよく最初に口にされる言葉です。確かに糖尿病と言いますと、厳しい食事制限、面倒な運動と病院通い、とかく窮屈な暗いイメージが付きまといます。しかし本当にそうでしょうか？甘い物や揚げ物を控えていると、野菜の自然な甘みや新鮮な魚の旨みが感じられるようになります。家の周りをウォーキングしてみると、車では気が付かなかった季節の花の香りや鳥のさえずり、ご近所さんの笑顔にも出会えます。神社の階段を小走りで登り切れば、爽やかな風を肌で感じることができます。運動は体だけでなく気持ちも軽やかにしてくれます。生活習慣の改善に取り組み始めると、血糖や血中脂質、血圧が改善し、筋力、体力向上から倦怠感が取れ、疲れにくくなり、明らかに体調が良くなってきたことを実感して頂けると思います。糖尿病あるいは予備軍と言われたことで、ご自身の健康状態に正面から向き合い、窮屈で暗いどころか、むしろ元気で楽しい充実した人生に出会う方が増えています。2024年11月新潟市にて「糖尿病予防キャンペーン東日本in新潟」が開催され、そのスローガンは「糖尿病がひらく新しい健康の扉」です。糖尿病あるいは予備軍と言われた方が、積極的に生活習慣の改善に取り組むことにより、むしろ一段上の健康状態に達することができる可能性を表現しています。新潟県糖尿病協会は、皆さんに糖尿病と向き合うための正しい知識を広めるために、各種イベント開催、ミニ新聞発行などの啓蒙活動を行っております。

「世界糖尿病デー」とは



11月14日の世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するため1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、2006年に国連総会で採択認定されたもので、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日になります。

この日は、世界各地で糖尿病啓発のキャンペーンを行っており、10億人以上の人々が参加しています。日本でも、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が共催して、11月14日を含む期間を「全国糖尿病週間」として、糖尿病予防や治療継続の重要性について市民に啓発するイベントを行っています。

「ブルーサークル」とは

世界糖尿病デーのキャンペーンに用いられるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしたもので、「糖尿病との闘いのため団結せよ」という意味がこめられています。

災害は忘れた頃にやってくる!!

新潟県看護協会

災害時に備えた準備はしていますか？いざという時のために、今から始めましょう。

防災リュックを作つてみよう！



災害時の食事をイメージしておこう！

- ① できる範囲でバランスを考える
- ② ゆっくり食べるようこころがける
- ③ 食後はなるべく体を動かす



防災バックを担いで避難所まで歩いてみよう！

防災バックは避難できる重さですか？



避難所は知っていますか？



内服薬はまとまっていますか？



インスリン注射グッズはすぐに持ち出せますか？



2

『災害時の心得』

なるほど...
大切なね

- その1 食事と水分はしっかりとる
- その2 飲み薬やインスリンは状況に応じて調整する
- その3 できるだけ身体を動かし同じ姿勢を長時間続けない
- その4 手洗い、うがい、歯磨きをして、細菌・ウイルスによる感染症を防ぐ
- その5 けがをしたら放置せず、きちんと手当てる
- その6 発熱・嘔吐・下痢・脱水などの症状が出たら、すぐに診療所・医療救護所に行くか、巡回している医療スタッフへ症状を伝える

ミニ糖尿病教室



糖尿病クイズQ&A

新潟市民病院



Q1. 健診で血糖値が高いといわれても、自覚症状がなければ医療機関は受診しなくてよい?

- ① ○ ② ×

答え: ②

血糖値が著しく高いと、口渴、他院、多尿、体重減少などの症状が出現します。しかし血糖値の上昇の程度が軽いと自覚症状がないことがあります。しかし自覚症状がない程度の血糖値の上昇でもそのままにすると合併症が進行する危険があります。必ず医療機関を受診するようにしましょう。

Q2. 糖尿病と関連する疾患はどれか?

- ① 歯周病 ② 認知症 ③ 骨折

答え: ①②③

いずれも糖尿病との関連が指摘されています。高血糖となると体の免疫機能が低下し歯周病の悪化につながります。また、歯周病関連細菌から出される毒素によって血糖値が悪化することも知られています。



Q3. 糖尿病で通院している場合に、眼の症状がなければ眼科を受診する必要はない?

- ① ○ ② ×

答え: ②

糖尿病による眼の合併症(網膜症)が起きて初期の段階では視力低下を認めないことがあります。しかし症状がなくとも眼科での治療が必要な場合もあります。定期的に眼科を受診することが大切です。

Q4. 非高齢者の糖尿病患者の合併症予防のためのHbA1c管理目標値として正しいものはどれか?

- ① 6.0%未満 ② 7.0%未満 ③ 8.0%未満

答え: ②

低血糖の副作用がなく達成することが出来ればHbA1c<6.0%を治療目標にすることが出来る。合併症予防の観点からはHbA1c<7.0%が目標値である。対応する血糖値として、早朝空腹時は130mg/dl未満、食後2時間180mg/dl未満をおおよその目安とする。簡単なHbA1cの評価の方法として、検査結果+30=体温と見立てるわかりやすい。

例) HbA1c8.5%+30=38.5°C 高熱だとわかる。
このままでは具合が悪いので積極的に治療が必要だと理解できると思う。

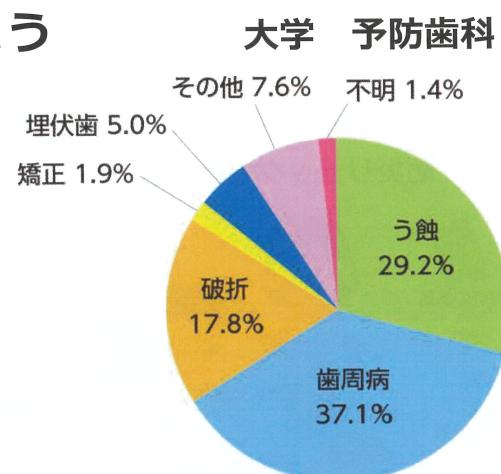
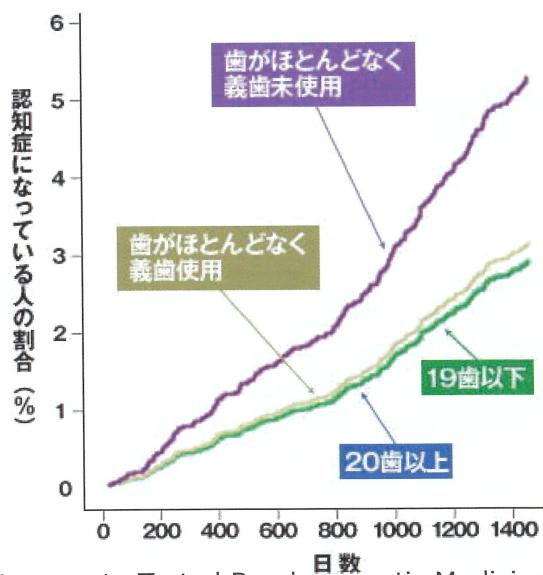
自分のHbA1c値を計算して自己管理に活用してください。



歯周病予防から「健康長寿」をめざしましょう

歯を失う原因の1位=歯周病

2018年に、8020推進財団が行った「第2回 永久歯の抜歯原因調査」によると、歯を失う原因の第1位は歯周病で、37.1%を示しています。第2位はう蝕（虫歯）で29.2%、第3位は歯の破折で17.8%となっています。年齢階級別に見ると、働き盛りの40代からは、歯周病の数字が年々増えています。



歯を失い、義歯を使用していない場合、認知症発症リスクが最大1.9倍に

歯が多く残っている人や、歯が少なくて義歯等を入れている人では、歯が少なく義歯を入れていない人と比較して、年齢、治療中の病気や生活習慣などの影響を取り除いても、その後に認知症発症や転倒する危険性が低いということがわかっています。

健康長寿の秘訣は、「できるだけ自分の歯を保有すること」であると言えます。しかし万が一、歯を失ってもしっかり入れ歯を使えば、あらゆる機能は維持されるので、かかりつけ歯科診療所で相談しながら定期的なチェックを行っていきましょう。

三二糖尿病教室

糖尿病患者の主な感染症の症状と対策

新潟県臨床検査技師会

糖尿病の人は、あらゆる感染症にかかりやすくなっているといえますが、とくに次のような感染症に注意して下さい。

尿路感染症

女性に多い感染症です。通常は尿道から感染し、膀胱炎、腎孟炎、腎孟腎炎と重症化していきます。合併症の糖尿病性腎症がある場合、進行を加速してしまうこともあります。

【症状】膀胱炎では排尿痛や残尿感、尿が濁る、トイレが近くなる（頻尿）など、腎孟炎、腎孟腎炎では、腰痛、発熱など。

【対策】

- ・尿意を我慢しない。神経障害がある場合は、時間を決めて定期的にトイレに行く。
 - ・陰部の清潔を心掛ける。
- 女性はなるべく温水洗浄便座を使用し、排便後のトイレットペーパーの使い方に注意する（前から後ろへ拭く）。

胆のう炎

胆のう炎は、胆石があると起きやすい病気。糖尿病の人は胆石を抱えている人が多く、また、神経障害により胆汁が滞りやすいことから、胆のう炎を発症しやすくなっています。

【症状】上腹部の痛み、黄疸<おうだん>、発熱など。

【対策】脂肪分の多い食事を控え目にする、大食をしない（胆石ができる原因となったり、すでにある胆石を刺激し、胆のう炎を起こします）。



健康的な生活で感染症を予防しましょう

感染症予防の基本は、できるだけ健康的な生活を維持し、ふだんから細菌類に対する抵抗力をつけておくことです。健康的な生活とは、例えばからだをよく動かすこと。運動により血流がよくなり、細胞の修復機能が高まり、抵抗力が強くなります。

ストレスの発散も大切です。ストレスがある状況では血糖値が上昇し、体内に侵入しようとする細菌類の増殖を阻止しにくくなります。現代の社会生活の中で、ストレスを全く溜めるなどというのは無理なことかもしれません、趣味やレジャーなど、なにかしら自分なりのストレス解消手段をみつけてください。

また、食事の栄養バランスも大切です。摂取エネルギーだけを気にして、栄養が偏った食事を続けていると、抵抗力が弱くなってしまいます。指示エネルギー量を守ることはもちろんですが、栄養バランスにも気を配り、正しい食事療法をめざしましょう。

そして、糖尿病の人が健康的な生活を送るうえで、最も重要なことは血糖コントロール。感染症のかかりやすさも、血糖値の高さと、血糖値が高かった期間の長さに影響されます。より良い血糖コントロールを続けることが、感染症予防に一番効果があるのです。



上気道炎・肺炎、結核

上気道炎とは鼻やのどの炎症で、いわゆるかぜのことです。かぜをこじらすと、気管支炎、肺炎をひきおこします。

結核は、かつて長い間、死亡原因のトップであり続けた病気です。現在は結核で亡くなる人は少なくなりましたが、患者数自体は最近再び増加傾向にあり、あなどれません。

【症状】主にかぜの諸症状。感染症が重症になるほどひどくなり、胸痛、呼吸困難などが現れる。結核はかぜに似た症状のほか、胸痛、喀血（かっけつ）など。ただし、これらの症状が出るのは発病後かなり経過してから。



【対策】

- ・こまめにうがいをする。うがい薬も良い。
- ・インフルエンザのシーズン前には予防接種を受ける。
- ・かぜだと思っても症状をあまくみない。かぜより重い病気にかかっている可能性もあるので、医師の指示に沿い、必要ならレントゲン検査などの検査を受ける。

皮膚感染症・足病変

白癬（水虫）やカンジダ症などが、全身に起きやすく、とくに唇や陰部などの皮膚の薄い部分に出てきます。また、足の水虫が潰瘍へと進行し、壊疽の原因になることもあります。

【症状】皮膚のただれ、かゆみ、痛み、できもの、口内炎、水虫など。水虫は爪にも広がります。

【対策】身体を清潔にし、毎日入浴する。また、足の手入れを習慣づけ、小さな傷や水虫も早めに治療する。

そのほかの感染症

糖尿病の人は、歯肉炎なども起こりやすいので、毎食後の歯磨きと定期的な歯科検診が大切です。



ミニ糖尿病教室

～食事療法～



食物繊維は十分摂っていますか？

新潟県栄養士会

食事療法を成功させるポイントの1つは食物繊維！

便通を整え、糖・脂質・ナトリウムなどを吸着して身体の外に排出する働きがあります。

1日の目安はどのくらい？



男性 21g以上/日 女性 18g以上/日

1日20 g/日以上が目標(理想は24g/日)

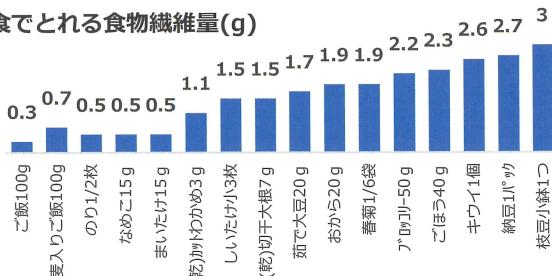
日本人の食事摂取基準2020年版より

最近の日本人の1日の食物繊維の平均摂取量は約18g。

つまり、少し不足しています



1食でとれる食物繊維量(g)



1日食物繊維20 g 以上の食事例



月見そば



ほうれん草のごま和え



りんご



食物繊維を増やすための一工夫！

- ・ご飯には玄米や麦、雑穀を加えて食べる
- ・パンの場合はライ麦パンや全粒粉のパンを選ぶ
- ・豆類(納豆やおから含む)を食べる
- ・緑色の野菜を積極的に食べる
- ・野菜の他に海藻、きのこ、こんにゃくをプラスする
- ・果物を適量食べる

主食はきちんと選んでしっかり食べよう！

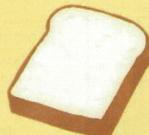
～食物繊維は白い主食より色の付いた主食に多く含まれます～

米類 (各150 g)



白米 0.5g

パン類 (6枚切り1枚)



食パン 2.5g

めん類 (各200 g)



うどん 2.6g

麦入りごはん
1.1g

玄米
2.1g

ライ麦パン
3.4g

そば
5.8g

パスタ
6.0g

※図中のグラムは各食品に含まれる食物繊維の量です

※食物繊維の量は「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」を用いて算出しています

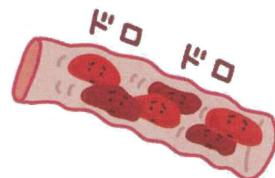
ミニ糖尿病教室 ～運動療法～



座りすぎている人は危ない!!

座位時間

が多くなると・・・



- ・糖尿病の発症リスクが上昇
- ・総死亡リスクが上昇
- ・血液循環機能が低下



少なくとも1時間に一度、できれば30分に1回は立ち上がり、少しでも動くようにしましょう！



- ・1日の中で2時間を座位から立位に変えると、空腹時血糖が2%、中性脂肪が11%に低下した。
- ・1日の中で2時間を座位から歩行などの動作に変えると、**BMI**が11%低下し、**腹囲**が7.5cm減少、食後2時間血糖が11%、中性脂肪が14%低下した。（Eur Heart J 2015）

座りすぎを減らし、少しで多く立ち上がり、動く工夫をしてみましょう



スタンディングディスクを活用
こまめにトイレ休憩

CM中は立って動き回る
リモコンは使わない

家事を積極的に行う

座位時間を減らして、こまめに動き、健康な身体を作りましょう!!

三二糖尿病教室 ～薬物療法～

あなたの糖尿病の薬はどれですか？

●糖尿病の薬は10グループに分けられます

糖尿病の治療には様々な薬が使われ、血糖を下げる働きにより下図のように5つに分けられ、さらに作用機序の違いによりインスリンの分泌をよくする薬は5つに、インスリンの効きをよくする薬は2つに分けられます。現在、インスリンを含めると糖尿病の薬は10のグループになります。これらの薬を、患者さんの状態に応じて使い分けます。複数のグループの薬を組み合わせて使うこともよくあります。

糖尿病の薬：血糖を下げる働きの違いから分類

インスリンの分泌をよくする薬

- ①スルホニル尿素薬（SU薬）
- ②速効型インスリン分泌促進薬（グリニド薬）
- ③DPP-4阻害薬
- ④GLP-1受容体作動薬
- ⑤グリミン薬

インスリンの効きをよくする薬

- ⑥ビグアナイド薬
- ⑦チアソリジン薬

ブドウ糖の吸収を遅らせる薬

- ⑧α-グルコシダーゼ阻害薬

ブドウ糖を尿中に出す薬

- ⑨SGLT2阻害薬

インスリン 人工的に合成したもの

- ⑩インスリン製剤



●特に、低血糖に注意する薬は、

薬により低血糖の起こりやすさに違いがあります。（下図）低血糖が起こりやすい薬は、⑩インスリン製剤、①スルホニル尿素薬（SU薬）で、次に、②速効型インスリン分泌促進薬です。③～⑨の薬は、単独では、低血糖が起こりにくいと言われています。ただし、⑩インスリン製剤、①スルホニル尿素薬（SU薬）や②速効型インスリン分泌促進薬と一緒に使っている場合は、同じように注意が必要です。

※低血糖とは、血液中のブドウ糖が下がりすぎた状態で、一般には70以下の場合をいいます。糖尿病の治療では、時として、薬が効きすぎて低血糖を引き起こすことがあります。



低血糖：薬による違い

低血糖が起こりやすい薬

⑩インスリン製剤

- ①スルホニル尿素薬（SU薬）
アマリール（グリメピリド）
グリミクロン（グリクラジド）
オイグルコン（グリベンクラミド）

②速効型インスリン 分泌促進薬

- グルファスト（ミチグリニド）
シュアポスト（レバグリニド）
ファスティック（ナテグリニド）

単独では 起こりにくい薬

- ※ただし、左側の薬と一緒に使っている場合は同じ注意が必要
- ③DPP-4阻害薬
 - ④GLP-1受容体作動薬
 - ⑤グリミン薬
 - ⑥ビグアナイド薬
 - ⑦チアソリジン薬
 - ⑧α-グルコシダーゼ阻害薬
 - ⑨SGLT2阻害薬

新潟市薬剤師会



●糖尿病の薬

下図にインスリン以外の9グループの薬を示しました。様々な製薬会社から多くの薬が発売されています。（ ）内は、ジェネリック薬の名前です。皆さんお使いのお薬はありますか？今回、配合剤は割愛しました。

※ジェネリック薬（後発薬）は、先発品の特許が切れて発売されるため薬の成分は同じですが、値段が安くなっています

※配合剤：複数の薬効成分をまとめて一つの錠剤にしたもの

糖尿病の薬

主な薬の名前（後発品名）

①スルホニル尿素薬（SU薬）

アマリール（グリメピリド）

グリミクロン（グリクラジド）

オイグルコン（グリベンクラミド）

⑤グリミン薬

ツイミング

②速効型インスリン分泌促進薬

グルファスト（ミチグリニド）

シュアポスト（レバグリニド）

ファスティック（ナテグリニド）

⑥ビグアナイド薬

メトグルコ（メトホルミン）

ジベース（ボルメリン）

⑦チアソリジン薬

アクトス（ピオグリタゾン）

③DPP-4阻害薬

グラクティブ・ジャヌピア、エクア、ネーシナ、トラゼンタ、デネリア、スイニー、オングリザ、ザフテック、マリゼブ

④GLP-1受容体作動薬

錠剤：リベルサス

注射薬：ピクトーザ、バイエッタ、ビデュリオン、リキスマ、トルリシティ、オゼンピック、マンジャロ

⑧α-グルコシダーゼ阻害薬

ペイシン（ポクリボース）

セイブル（ミグリトール）

グルコバイ（アカルボース）

⑨SGLT2阻害薬

スーグラ、フォーシガ、ルセフィ、

デベルザ、カナグリ、ジャディアンス

●服薬時間に注意する薬は、

服薬のタイミングに注意する薬があります。（下図）

②速効型インスリン分泌促進薬、⑧α-グルコシダーゼ阻害薬は食直前の服用です。④GLP-1受容体作動薬の服用は、一日の最初の飲食前で服用後30分は飲食禁となっています。日常的には起床時になると思います。いずれも上記のタイミングで服薬できなかった場合は、一回分を休むことがあります。詳しくは薬剤師にお聞きください。

●最後に

糖尿病の薬はグループによって注意する点が少しずつ異なります。今回は、低血糖と服薬時間について書きましたが、他にもあります。お薬をもらったとき、どのグループの薬なのか、どんなところに注意するのか、是非、確認しましょう。

服用時間：

起床時

④GLP-1受容体作動薬

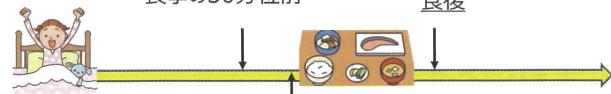
錠剤：リベルサス

一日の最初の飲食前（服用後30分飲食禁）

食前

食事の30分位前

食後



食直前

食事を食べ始める直ぐ前

②速効型インスリン分泌促進薬

グルファスト（ミチグリニド）

シュアポスト（レバグリニド）

ファスティック（ナテグリニド）

⑧α-グルコシダーゼ阻害薬

ペイシン（ポクリボース）

セイブル（ミグリトール）

グルコバイ（アカルボース）

ミニ糖尿病教室 ～最近の話題～



Question

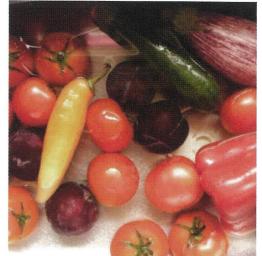


糖尿病は“不治の病”？

Answer

糖尿病は必ずしも治らない病気ではない

- 運動や食事療法を行うことで、薬を使わなくても糖尿病の基準を満たさなくなる（＝寛解する）方がいます
- 寛解しやすい人の特徴
 - ① 早期に治療を開始
 - ② 肥満がある人で、体重を減らせた



答え：2（ただし、患者さん全員が寛解する訳ではない点には留意が必要！）

糖尿病は必ずしも治らない病気ではない

- 寛解した後に、体重が再度増加（リバウンド）すると糖尿病が再発しやすいです
- 一度寛解したとしても、無理のない食事・運動を継続し血液検査を定期的に受けること



新潟大学医歯学総合病院 内分泌・代謝内科

血糖持続測定の進歩を活用

木戸病院 糖尿病内分泌内科

血糖持続測定の進歩から

血糖自己測定や24時間血糖自己測定CGM（Continuous Glucose Monitoring）の進歩が糖尿病の方の療養に大きな効果を上げています。CGMは一型糖尿病の方には特に大きな効果を上げて日常生活の質や自由度の向上になくてはならぬツールになっています。2型糖尿病の方はどうでしょうか。効果てきめんだったお二人をご紹介します。

Aさんは毎朝の血糖自己測定は100前後と安定され、食事や運動も気を付けておられましたが、なぜかHbA1cは7.7%。CGMを希望され、分かったことは、時々のデザートの影響でした、ジョギングの時の低血糖の心配もなくなりHbA1cも6.9%へ改善。

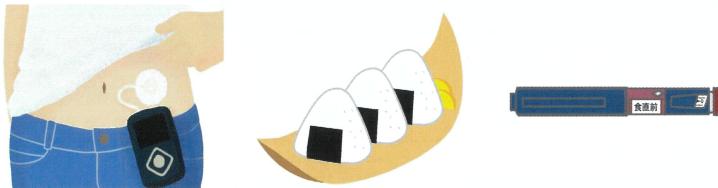
若いBさんは指先血糖測定が苦手。インスリン注射も忘れることがあり、食べ過ぎになりがち。いつも携帯されているスマホとCGMを連動させたところ1分ごとの血糖値の動きが見える化して食生活が改善、インスリン注射調節もうまくなられた、GIP/GLP-1受容体作動薬を週1回併用してHbA1cは9%から、6.8%へ改善。インスリン量も80%に減量できました。



千笑朱鷺の会・ペガサスの会 ～1型糖尿病勉強会・交流会～

【1型糖尿病勉強会・交流会とは】

1型糖尿病を持ちながら生活する上で、情報交換や新しい治療法の知識をえることは、とても重要です。



千笑朱鷺の会・ペガサスの会は年に1~2回、勉強会・交流会を行っています。主治医の先生、インターネットなどを通してお知らせをします。是非ご参加下さい。

次回は2025年3月15日(土)開催です。(詳細未定)



ご無沙汰しております。寒くなれて参りましたが、皆様如何お過ごしでしたか。

どんな時もインスリン治療を頑張っておられる1型糖尿病のある方々が、自身の病気への理解を深め、周囲の家族、医療スタッフとそれを共有するため、今年も『千笑朱鷺の会・ペガサスの会～1型糖尿病勉強会・交流会～』を開催します。

前半は、自身も1型糖尿病をお持ちの、かみうち内科クリニックの神内謙至先生をお招きし、1型糖尿病のアレコレについてご講演を頂きます。
こちらはZoomでも配信します。

後半は、堅苦しくない患者交流会(=フリータイム)です。

施設の人数制限の関係で、先着100名限定です。
1型糖尿病の方、家族、友人、医療関係者、皆様、お説き合わせの上、是非ご参加下さい。

記

【日 時】：2024年3月9日(土) 15時30分～18時00分
(15時00分受付開始)

【会場】：駅南キャンパス ときめいど (新潟市西区駅南地区口丁目1番地 ブルーカー2階)

【参加費】：500円 (家族で来られる方は、1名分500円のみOKです。)

【前半のプログラム】 15時30分～
1型糖尿病講演会 (Zoom配信有り)
演題名：1型糖尿病 よもやま話
演者：かみうち内科クリニック 神内謙至先生

【後半のプログラム】 16時30分 交流会
参加された皆様での情報交換の場を設けます。

*お話しに参加しない子どもたち(高校生以下)用に、レクリエーションも準備します。

*交流会後、有志での神内先生を囲んでの懇親会(食事会)を予定しています。



2024年3月9日に開催しました。



友の会とは

「友の会」は、糖尿病患者、その家族、糖尿病診療に関心のある医療スタッフで構成され、医療機関ごとに作られています。現在、新潟県では11、全国に約1600あります。各医療機関の状況に応じ、勉強会や食事会・茶話会、交流会などの企画をしています。

また、月刊「糖尿病ライフ さかえ」を毎月お届けします。

入会を希望される方は、各病院の友の会にお問い合わせください。通院する病院に友の会がない場合は、新潟大学病院 トキの会までご連絡ください。

分会名	連絡先	電話番号
新潟大学病院 トキの会	新潟大学医歯学総合病院 血液・内分泌・代謝内科	025-368-9026
ペガサスの会 (小児1型糖尿病)	新潟大学医歯学総合病院 小兒科	025-227-0222
千笑朱鷺の会 (成人1型糖尿病)	新潟大学医歯学総合病院 血液・内分泌・代謝内科	025-368-9026
県立がんセンター新潟病院 友の会	新潟県立がんセンター新潟病院栄養課	025-266-9378
木戸病院 糖友会	木戸病院 医局事務	025-273-2151
筒井内科クリニック モンブランの会	筒井内科クリニック(新潟市中央区白山浦)	025-234-2511
中川内科医院 ひまわりの会	中川内科医院(三条市)	0256-33-1671
長岡中央総合病院 中央とうゆう会	長岡中央総合病院	0258-35-3700
高木内科クリニック さわやかみどり会	高木内科クリニック(長岡市)	0258-21-3500
柏崎総合医療センター 陽だまり友の会	柏崎総合医療センター	0257-23-2165
佐渡総合病院 糖尿病友の会ゆきつばき	佐渡総合病院 栄養科	0259-63-6345

編集後記

糖尿病は、現代社会において深刻な健康課題となっており、その対策や最新の治療方法に関する情報を提供することは、私たちの使命であり責務です。本紙では、糖尿病に関連する最新の情報、抑えておくべき重要な知識を幅広く取り上げました。糖尿病についての正確で信頼できる情報を提供することで、患者の方々やその家族、関係者の方々が健康的な生活を送るためのサポートを提供できればと願っています。知識と理解を深めることで、糖尿病と共に適切に向き合い、良質な生活を実現する手助けができると信じています。

新潟県糖尿病協会 松林泰弘、山田貴穂

主催：新潟県糖尿病協会

後援：新潟県 新潟市 新潟県医師会 新潟市医師会 新潟県歯科医師会 新潟市歯科医師会
新潟県栄養士会 新潟県看護協会 新潟県薬剤師会 新潟市薬剤師会 新潟県病院薬剤師会
新潟県臨床検査技師会 新潟県理学療法士会 日本健康運動指導士会 新潟県支部
新潟市糖尿病対策推進会議 (順不同)